

## 市長発言要旨

### 【発表事項】

#### ① 米沢市戦後80年事業について

戦後80年という節目に向けた平和事業について発表します。

一つ目は、6月に全中学生を対象に開催した平和講演会です。

映画「記憶の解凍」の監督である、庭田杏珠さんを広島からお呼びして、庭田さんが高校時代から取り組む、被爆前後の白黒写真を戦争体験者との対話を基にカラー化する「記憶の解凍」について御講演をしていただきました。

二つ目は、「広島・長崎・沖縄パネル展覧会」ということで、市庁舎1階市民ホールで8月6日から9月29日まで展示をしております。原爆ポスター・パネル展、9月1日から沖縄中学生派遣報告展、9月16日から庭田杏珠「記憶の解凍2025」展を開催しておりますので、

三つ目は、市内全中学生に募集した「平和メッセージ」です。

中学生自身が考える「戦争のない平和な社会を実現するためのメッセージ」を募集しました。応募数は、1,219点で、第一次選考、第二次選考を経て、入選作品10点が決定しました。入選作品の中から1点を市長表彰作品として、米沢市立第一中学校 1年 伊藤勇哉(イトウ ユウヤ)さんの作品「またあした そういえるいま まもりたい」を選定いたしました。9月1日から、市庁舎東側に懸垂幕を掲示していますので、ぜひ、ご覧ください。どれも素晴らしく、市長表彰作品の選定はとても悩みました。やさしい平仮名の表現がゆえに心に訴えるものでした。

四つ目に、9月15日に、市民文化会館を会場に「映画『記憶の解凍』上映会・はらかなこコンサート」を開催します。映画では、実際に庭田さんが戦争体験者との対話をしている様子や色付けしている様子を短編小説のように紹介しています。「記憶の解凍」によって甦った、温もりあふれる日常の風景は、はらさんが奏でる音色と共に、観る人の心に、深く刻まれることを期待するところです。

映画の上映は、庭田さんの拠点である「広島」に次ぎ、全国で2番目です。そして、はらさんのコンサートと庭田さんとのトークショーをセットで楽しめるのは、本市ならではの貴重な機会です。ぜひ、御覧ください。

#### ② まちなか定額タクシーの利用状況について

9月1日から新たに運行を開始した「まちなか定額タクシー」の利用状況についての速報値をお知らせします。

はじめに登録者数ですが、9月8日正午時点で、3,925人となっております。

また、9月1日から6日の6日間における「まちなか定額タクシー」の運行回数ですが、746回となりました。当初想定として、1日130回程度と考えておりましたことから、概ね近い結果になったものと捉えております。

座談会などでも好評で、まずは一週間としては好調なスタートと思っています。まちなか定額タクシーと、乗り合いタクシー、循環バス、この三つの柱で公共交通網を作っていますが、私の公約である市

内全域でのドア to ドアの交通網はほぼほぼ達成できたのではと思っています。唯一、残っているのが乗り合いタクシーエリアで万世地区ですが、当初いないのではないかとということでしたが、現在、再調整したいということで現在進行中です。

登録は引き続きできますので、登録いただいて、ご利用いただきたいと思います。

### ③ 令和7年国勢調査の実施について

令和7年10月1日を調査基準日として、国勢調査が実施されます。

国勢調査は、国の最も重要な統計調査であり、この結果は国や地方公共団体の政治や行政に活用されるだけでなく、民間企業や研究機関でも広く利用されます。そうした活用を通じて、私たち政策立案の土台となる大変重要な調査です。

本市では、およそ400名の方々に調査員として、また約60名の方々に指導員として調査に従事していただきます。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

9月20日から調査員が身分証を携行したうえで、各世帯を訪問し、調査書類を配布いたします。

回答方法は、インターネット、郵送、または調査員による回収のいずれかとなります。ぜひ積極的にインターネットでの回答をお願いいたします。

回答の期限は、いずれの方法も10月8日までです。市民の皆さまにおかれましては、御協力くださいますようお願い申し上げます。